



令和6年度 西都市立妻南小学校の学校経営

学校経営のキーワード

夢・実践・改革

どのような子どもを育てていくのか児童、保護者、地域の方々も共有できる末尾

学校教育目標

すすんで学び

なかまと築き

豊かに生きる 妻南っ子

「何ができるようになるか」「何を学ぶか」
「どのように学ぶか」

目標具現化の3つの実践

「自己肯定感や自己実現」と「人とのつながりや利他性、社会貢献意識」を調和的・一体的に育む

- ◆ 「自立」⇒ 自分のことは自分でできる。
自分のことは、自分で考え、判断し、自ら行動する。
- ◆ 「感謝」⇒ 自分を支えてくれる家族、仲間、先生、地域の方々に感謝し、伝えることができる。
- ◆ 「貢献」⇒ 感謝の心を言葉や行動で表現し、人のためになる。

めざす学校の姿

- ◆ 子どもにとって“行きたい”学校
- ◆ 保護者や地域にとって“行かせたい”学校
- ◆ 教職員にとって“働きがいのある”学校

めざす教職員の姿～ともに学び、考え、挑戦する

- ◆ 自分の仕事に自信と誇りをもつ
- ◆ 日常的に授業の話をして、お互いの力量を高める
- ◆ 家庭や地域と連携し、対話によって信頼関係を築く
- ◆ 子どもの姿に学ぶ

今年度の妻南小学校の核となる教育活動

- ◆ 子ども一人一人を「自立した学習者」に育てる
- ◆ 子どもの心に寄り添い、耳を傾け、そして見届ける
- ◆ 基礎学力の向上～年間を通した指導と評価の一体化
 - ・ 日々のアウトプット型の主体的で対話的な授業展開
 - ・ 学力調査結果の活用
 - ・ 年度末の「Relearnタイム（学びの保障期間）」の取組
 - ・ 少人数指導の在り方と家庭学習の工夫（個別最適な学びのための取組）
- ◆ 総合的な学力の向上～探究的・協働的な学びを軸に
 - ・ 児童が主役の教育課程の編成と実施
 - ・ 体験活動、総合的な学習の時間（さいと学）における知の総合化
- ◆ 学校運営協議会の推進による地域ともにある学校の創造
- ◆ 子どもの学び研究開発に係る「学力向上と教職員の働き方改革」の推進